校長室だより　うんとこしょ　どっこいしょ　第１６号　令和３年６月５日

渋谷区立原宿外苑中学校長　駒 崎 彰 一

「定期テスト」について考える

中間考査（テスト）が近づいてきました。小学校と中学校の大きな違いの一つに「定期テスト」があります。２期制の渋谷区の場合は、前期に２回（中間・期末）、後期に２回、年間計４回、３年間で総計１２回の定期テストを３年間で経験します。最近では、各教科で一つの単元（学習のまとまり）が終了するごとに「単元テスト」を実施し、小刻みに小テスト、そして何度もチャレンジできるといった方法に変更する中学校も出てきていますが（小学校のような方法です。）私自身は「定期テスト」は大切な取り組みであると考えています。

はじめに、「家庭学習」をする時間をどう確保するのか？

難しい問題であると思います。部活があったり、習い事があったり、塾があったり・・・しかし、「家庭学習」は「とても重要な時間」であると言われています。

家庭で学習をするということは「自分一人で学習をすること」です。つまり、自分自身と真剣に向き合って、自分自身に必要な「学び」を見つけて、自分の計画ですすめることであり、「自分なりの学び方」を探し出すことになります。中学校で身につけてほしいことは「テストで良い点を獲得する」ということだけではなく、自分自身にあった「学び方」を見つけ出して課題を解決する力をつけることです。いわゆる「問題発見解決能力」と言われています。

将来、社会に出て様々な「課題」が目前に現れた時に、課題を分析して自分なりに「解決方法」を見つけ出し、自分の力で解決していくことが求められます。つまり、「定期テスト」という「課題」に対して、出題の傾向を分析し、自分なりの解決方法（学び方、勉強方法）を探し、自分の力で解決をする。「定期テスト」は、このようなスキル（技術）を身に付けるトレーニングであると考えています。このようなスキルを身に付けた人は、学校を卒業して社会に出た時に「大きな力」を発揮すると思います。「塾」では学び方や勉強方法の技術（ノウハウ）を提供してくれますが「自分事」として当事者意識をもたないと・・・。定期テストを利用して「家庭学習」の習慣（自分一人で学びに向かう習慣）を身につけてほしいと思います。そして自分自身で学び方を確立してほしいと思います。自分なりの課題解決方法を見つけ出してほしいと思います。

これからの人生の中で様々な「テスト」があります。「高校入試」「大学入試」「就職試験」「資格試験」「昇任試験」などなど、どのような「テスト」で、どのような出題傾向なのかを分析して、自分にあった学び方で乗り越えていくしかないと思います。

「学校だとみんなと一緒だから勉強できるけど、一人になるとどうも勉強する気にならない」という声も聞きます。学校の「学び」は、多様な他者と協力して課題を解決していくことです。これも将来に向けて大切な力の一つです。しかし、その前提として自分なりの課題解決方法を身につけておく必要があります。このように考えると家庭学習の理想は「自分で課題を分析し、目標をたてて、計画をつくり、一人で学べる」ことです。社会に出て、短いスパンでの自分に任されたプロジェクトをマネジメントしていくことにつながるのではないでしょうか？　定期テストは、短いスパンで目標をたて、計画をつくり、実行することのできるとてもよい機会であると考えます。いわゆる「定期テスト点数ＵＰプロジェクト！」自分自身でプロジェクトをマネジメントしてみてください。このプロジェクトの成果はテストの点数として現れてくると思います。

保護者の皆様も、このプロジェクトに参加してみてはいかがでしょうか。具体的には「勉強しなさい」と口を出すのではなく、お子さまが勉強している同じ時間に、保護者も仕事や読書をするなど、学びの「時間」を共有してみるのが良いと思います。ひょっとしたら、子どもも「一人じゃない」と感じて、家庭学習に向かいやすくなるかもしれません。

さぁ定期テストです。短い期間の「自力での課題解決」に挑戦してみましょう！
本当はコツコツ毎日継続して勉強する（学ぶ）ことが大切です。テスト前だけでなく長いスパンで！

３年生の修学旅行について

延期の日程が決定しました。

令和４年２月２４日（木）から２６日（土）となりました

（都立入試２月２１日（月）→合格発表が３月１日（火）です。）

予定していた宿舎は１日目の奈良の「信貴山観光ホテル」は変更ありませんが
２日目の京都「御殿荘」が改装期間となってしまうということで

「金波楼」　https://www.kinparo.net/

に変更になりました。

（本件に係るキャンセル料等は全て渋谷区が負担するとのことです。）

このころには、受験もワクチン接種も終了して・・・思いっきり楽しむことができればと考えています。旅行の詳細は近づきましたら連絡いたします。